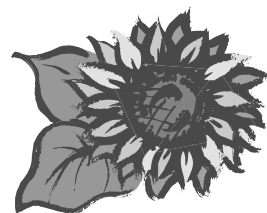


会 報

ひまわり

39号

ひまわりの会



— 発行人 —

会長 — 柳一男

— 事務局 —

前橋市堀之下町 16 番の 1
財群馬県健康づくり財団内
電話 027 (269) 7811

39号の発刊によせて



会 長
一 柳 一 男

ひまわりの会の皆さんにはお変わりなくお元氣にお過ごしのこととご推察申し上げます。

今年度も会員の皆様には各種行事にご協力いただき誠にありがとうございました。

今回はうれしい報告がございます。それは前会長の塚本脩治さんが、昨年十月二十日県庁の正庁の間において「健康づくり特別功労賞」を受賞されたことです。ひまわりの会の立ち上げから二十二年間にわたり会長と認められ、その間県下のがん征圧の拠点として絶え間なく活動されてきました。ご苦勞が認められた結果の受賞と思います。本当におめでとうございます。

さて、今年度は新しい方法で懇談会を開催したいと思ひます。それは一口にがんといっ

てもその部位によつて、その現象も予防も克服方法もかなり異なつてゐると思われまふ。そこで、部位別に会員の懇談会の場をもうけ、それぞれの部位で話し合はれた貴重な体験などを記録に残し、がん宣告に悩んでおられる方々に参考助言が出來ればと思ひます。

健康づくり財団には日頃、陰に陽にご協力ご指導をいただいておりますが、更に次年度からはひまわりの会の会合に専用のバスの利用が出来るようになります。会員のなかには「足がないので行事に出られない」とい



会長：右端 塚本さん：下段中央

う声を聞くこともありましたが、そうしたことが解消されるかもしれません。そうなればひまわりの会の行事により多くの会員の皆様の参加が期待できるものと楽しみにしております。

昨年は日本列島を含め世界的に大変な年になりました。それは百年に一度といわれる金融経済危機といわれ、今年の三月末までには約八万五千人の失業者が出るといわれています。このような厳しい世相であります。どうか会員の皆様にはくれぐれもご健康に留意され、変わらぬご協力をよろしくお願いいたします。

受賞のよろこび

顧問 塚本 脩治

昨年十月二十日、県庁正庁の間において、財団法人群馬県健康づくり財団表彰式があり、健康づくり特別功労者五人と同じく功労者二十三人の方々が表彰の栄に浴し不肖塚本が特別功労者を代表して、鶴谷嘉武理事長より表彰状を頂きました。



その時は、両手にひまわりの会員の思いが積まれたような重さを感じ、つづいて「長い間ご苦勞様でした」と、温かい慰勞の言葉と畏敬の念で一杯でした。

かえりみれば「ひまわりの会」が発足して三十年、様々な出来事がコンピューターの速さで脳裏をよぎる、嘉悦のことは、全て二倍三倍に増幅されて蘇り、困惑して立

ち止まったときの事など懐かしく想い出されました。

当日はご多忙中のところ、財団の下村課長、絹川事務局担当、ひまわりの会一柳会長、北爪・木村両副会長の皆様のお立ち会い、祝福をいただき光栄と存じます。心より感謝申し上げます。

年が明け一月二十二日、ひまわりの会新年祝賀会がロイヤルホテル九階ローズルームで開催され、新会員五名が加わり、総員二十六名の大盛況でした。

穏やかで華麗な雰囲気の中に懇談。ピアノに合わせてカラオケ愛好会のメンバーによる懐かしのメロディーを聞くうちに大合唱となり皆さんとても満足の様に見受けられました。

宴たけなわの折、一柳会長から顧問の塚本が健康づくり特別功労賞を受賞した旨の話が伝えられて、会員の皆さんから祝福のお声が聞こえて参り感激致しました。更に役員一同の方から、高価な記念品を頂戴いたし、厚く御礼申し上げます。

これからも微力ながら会のためにお手伝いさせていただきますと思っております。

秋の親睦旅行

幸坂 頼子



幸坂 頼子

去る十一月十六日・十七日にひまわりの会の秋の親睦旅行で水上へ行ってまいりました。

会員十七名・事務局から三名の方に参加していただきました。

事務局の方が可愛らしい「ひまわりのブローチ」を参加者全員に編んでくださり、忙しいのにありがとうございます。

最初に見学した月夜野のビードロパークでは、ガラスで作られたアクセサリーや置物などがあり、見ていると欲しいものが沢山ありました。

一日目はあまり良い天候ではありませんでしたが、水上に着くころには晴れ間が出てきて、山の紅葉、日の光、雲や霧の流れ



ホテルからの眺め

がうまく混ざり合ってとても良い風景でした。

宿に着くと早速温泉に浸かり、夕食の宴になりました。

皆さんと美味しい食事を頂きながら、沢山の人が唄いとても盛り上がりました。

最後には全員で手をつなぎ、輪を作って一緒に唄ったことがとても楽しかったので、またこうした機会があれば良いなと思いました。



二日目は良いお天気で、昨日とは違った紅葉との出逢いですばらしかったです。

玉原発電所では地下発電の仕組みについて説明を受け、偉大な働きをしていることを知り勉強になりました。

このように「ひまわりの会」の行事に参加することで様々な経験をし、勉強にもなりますのでなるべく多くの人達に参加していただきたいと思います。

お互いに元気をいただいて沢山の楽しい思い出作りをしていけたらと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



ひまわりブローチへの 思い

秋田 和子

昨年十月よりひまわりの会事務局に二名の保健師が担当になりました。金子亜希子とともによろしくお願いいたします。

私の家族や友人にも「がん」の経験者があり、ひまわりの会をとっても身近に感じています。

23年前、同居の義父が見せてくれた胃のレントゲン写真は、今も鮮明に覚えています。持病の心臓病に隠れ、発見から半年後にはお別れでした。

義母は、20年前子宮がんを早期に手術をし、今も元気になっています。

また、友人は四年前に財団の住民検診で乳がん（マンモグラフィ検査）と胃がんを同時に見つけ、手術し、スッカリした体型になり「いくら食べても太らないから嬉しい」と元気にしています。

誰でも「がん」になる時代です。早期発見、早期治療の大切さを肌身で感じています。「恥



秋田保健師

金子保健師

ずかしい」「面倒くさい」「自分には関係ない」「見つかると怖いから」では、自分の身体は守れません。検診のオリエンテーションでは、「友だちにも声を掛けてね」と声を大にしています。

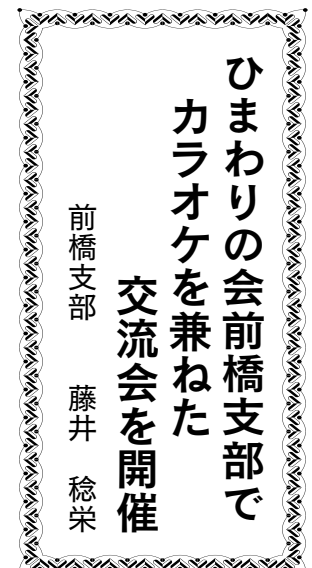
そんな思いもあって、会の皆さんとの旅行には、ひまわりのブローチを作らせていただきました。がんと闘病中の方、がんを克服した人たちの会として、私からの賞賛としてのブローチです。

私は「お母さんはひまわり」と言う、ある詩人の言葉が好きです。ひまわりは太陽に向



かつてまっすぐ伸び、輝きを放つ。その美しさは、真にかれんではなく、何にも負けない強さと希望の象徴です。明るい笑顔の形容にぴったりの花です。記念写真に写ったひまわりの会の皆さんの姿は、胸にひまわりの勲章をつけた勇士そのものです。

あなたがあなたしか出せない色で、輝く日々を重ねていくお手伝いをさせてください。



藤井 稔栄

ひまわりの会前橋支部では、昨年10月16日に会員の親睦を深めるために、カラオケを兼ねた交流会をカラオケパークサイド前橋三河店で開催しました。

参加された会員は6名、塚本脩治さん、能條好江さん、木村茂さん、青木玲子さん。高橋専蔵さんと私藤井稔栄、他に特別オブザーバーとして根岸利光氏が参加してくれました。

木村茂支部長のあいさつがあり、次いでなごやかなうちに、お互いにがんを克服した体験談や今後の支部活動について意見交換をし



たり、出席できない会員のためにお互いにごんを患った体験記や支部行事等を載せた会報を年1回程度発行することで了解をしていたできました。

続いて、カラオケに移りみなさんが得意の歌謡曲等を思いっきり唄って楽しい時間を過ごしました。

又、年1〜2回花見やカラオケ等を開催しがん闘いながら会員相互の交流を図っていくことになりました。

カラオケ

田中 安蔵



田中 安蔵

去る 1 月 15 日 (木)、カラオケ愛好会による集いがあり、お誘いを受け参加しました。

メンバーは前橋の高橋専蔵さん、藤井稔栄さん、青木玲子さん、他長野原の林敏彦さん伊勢崎の根岸利光さん、そして私桐生の田中安蔵の計 6 名の集まりのところ、このうち青木玲子さんは風邪気味なので大事を取り欠席となり、野郎ばかり 5 名が真つ昼間からマイクを片手に次々と得意の喉を披露しました。

しばし時の経つのをわすれて、楽しいひとときを過ごし、最後は皆で裕次郎の唄を歌い、それぞれ青春の 1 ページを思い浮かべながら懐かしいひとときでした。

次回三月の集まりを約束し散会。本当に楽しい一日でした。

ひまわりの会新年会

平成 21 年 1 月 22 日 (木) 12 時から前橋市にある群馬ロイヤルホテルの 9 F ローズルームにおいて、「ひまわりの会新年会」が開催されました。新年会は例年、年の初めの 1 月下旬に開催されています。群馬ロイヤルホテル



のローズルームは西側一面の眺望がすばらしく 9 F からの窓の先には真っ白い浅間山、榛名山、眼下には利根川が流れており昨年に引き続き続いての開催場所となりました。

今年の新年会は、会員 17 名、新会員 5 名、事務局 4 名計 26 名の参加があり、美味しい料理に舌鼓をうちながら和やかに談笑し、宴たけなわの中、一柳会長から群馬県健康づくり財団より昨年「健康づくり特別功労賞」を受

賞された塚本顧問の報告があり、改めて会員の皆さんに賞状と役員一同からの記念品が披露目されました。

お開きに近づくころ、林さんが用意してくれたカラオケの歌詞に向かい全員での大合唱。2曲、3曲と唄い、声を出して唄ったことによりみなさん大変気持ちよくなれたのではないのでしょうか。

新年会のように、ひまわりの会の行事は明るく楽しく進めていけたらと思います。

木々はみな若葉となる候

青野 睦子



青野 睦子

余命を告げられた日は、皮肉にも四月十日の結婚記念日の日でした。

病院の面談室に呼ばれた時、何となく嫌な予感がしました。

そこに担当医と看護師長さんが居り、今までの経過等を淡々と伝えられた時は、悔しくて哀しく娘と時を忘れて泣き過ぎました。

病院の駐車場の車の中でも又、一人子供のように嗚咽が止まらず、この今の胸中を誰かに聴いてもらいたい、誰かに縋りたい：でも軽々しく言えない：自分が無茶苦茶になりそうになるのを必死で堪え、その時どれ程の時間が過ぎていったのか今も解らない。

冷静を取り戻し病院からの帰り道、涙で前方がくもり、やっと家に着いたことが昨日のこのように脳裏をかすめる。

あんなに胸が痛く、息苦しくかなしい想いは誰にもさせたくない、一人でも多くの方に早期検診をしてほしいと思います。

健康に産んで育ててくれた主人の両親にいつも感謝していたのに、食後に嘔吐するなんて今まで一度としてないことに驚き、検査入院することとなり、いろいろな検査が始まり、進行癌であることを医師から告げられた時、何が：どうして：と頭を殴打されたように整理がつきませんでした。目の前が真っ暗ってこういうことかと胸を突

き刺されました。

それまでは食欲もあり痩せることもなく、突然の嵐のように平凡であった私達は癌という一字に奪われ、余りにも悲し過ぎます。

回復を祈り、入退院を繰り返しましたが、病は癒えることなく極限に立たされながらも主人は日々決して愚痴を言うことなく、明るく前向きな人でした。

でも：でも主人はどんなに、どんなにか無念であったことかと想うと哀しみの涙は止まることなく迫る。

主人の傘の中に入っていれば良かったのに：主人がいるだけで幸せだったのに：あなたの傍はいつも温かかった。四十二年の感謝は生涯忘れることはありません。あなたに出逢えたことに感謝し、あなたは素晴らしい伴侶でした。今まで全部ありがとう。私はどうしてもっと早く主人の体調に気がつかなかったのか。自分を責め納得できず前向きになれないときがある。

長男に「お父さんは立派な生き方だったよ」「毎日を充実した日々を送ったと思うよ」と、長女に「お父さんは好きな仕事を精一杯し満足していると思うよ」と：涙で

顔を上げられず声も出ず頷いて返事はしたものの、親にはぐれた迷子が迷路に入ったように自分を見失いそうになり、微笑んでいる遺影に問うてみることにしきりにある。

私自身も十年前に胃を全摘する手術をし、その時には心身共に主人に助けてもらいましたのに、私は主人を助けてやる事が出来ず月日の経つことにただただ焦り、時よ止まれと想い夢中で過ごしてしまい反省ばかりで前へ進むことが出来ませんでした。

今は周りの沢山の方々に支えて頂き、これから自分の胸の大きな穴を埋めるには前向きに生きていこうと、それが亡夫への感謝と供養にもなるかと考えてます。

法事を済ませ独居に戻り仏前に早朝の熱いお茶をお供えし、昨日、今日の話を話しながら在りし日を偲ぶ…

季節はめぐり、裏庭にあなたが植えた白梅は今年もきれいに忘れずに咲いてくれましたよ。

一枝お供えしましょう。この香り千の風に乗って届きますように…

新 会 員 紹 介

森山タイ子さん (高崎市)

小川 和子さん (高崎市)

小板橋博文さん (安中市)

小板橋英子さん (安中市)

村田 たつさん (みなかみ町)

今井 忠夫さん (太田市)

栗原 美幸さん (伊勢崎市)

藤田実由紀さん (前橋市)

高野むつ子さん (埼玉県深谷市)

お く や み

大沼 宏次さん (嬬恋村)

一 緒 に

活 動 し て

み ま せ ん か

本会の活動にご賛同くださる方々のご入会をお待ちしています。

ひまわりの会事務局

(群馬県健康づくり財団内)

電話〇二七

(二六九) 七八一一

